

令和3年10月25日

関係各位

四国ファシリティマネジメント協会
会長 山下 幸男

令和3年度ファシリティマネジメント特別講演会の開催について（ご案内）

平素は、四国ファシリティマネジメント協会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ファシリティマネジメント（FM）は、企業や団体にとって施設の最適化や経営効率のアップ、省エネルギー等の効果が期待できることから、厳しい財政状況にある地方自治体においても、地方創生の効果的な手法として注目され、高い関心を持って取り組まれております。

香川県では「香川県新ファシリティマネジメント推進計画」を策定し、「ファシリティ情報の一元化」、「県有資産の効率的な運用や長寿命化」、「維持管理経費の縮減」、「未利用地の処分・利活用の推進」、「安全な県有建物の維持」の5本柱の取組みを推進しています。

今年も香川県と県内自治体、民間企業の担当者の皆様を対象とした「令和3年度ファシリティマネジメント特別講演会」を別紙のとおり開催しますので、ご出席方よろしくお願ひ申し上げます。つきましては出席者名簿を事務局までメールにてご提出くださいますよう併せてお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、香川県新型コロナウイルス対策本部が策定する最新の催物（イベント等）の開催にあたっての留意事項に基づき、適切な感染防止対策を行います。

問い合わせ先

四国ファシリティマネジメント協会
事務局 三好
メール info@s-fma.jp

(別紙)

令和3年度ファシリティマネジメント特別講演会

- 1 目的 ファシリティマネジメントの意義や具体的な取組みについて、理解を深める。
- 2 主催 四国ファシリティマネジメント協会 (S F M A)
- 3 後援 香川県
公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会 (J F M A)
一般社団法人日本建築学会四国支部香川支所
- 4 日時 令和3年11月24日(水) 14時～16時30分
(開場13時30分)
- 5 場所 かがわ国際会議場
高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー タワー棟6階
- 6 対象 県内自治体の施設管理担当者、県内民間企業の施設管理担当者
建設会社、設計事務所、大学関係者 など
- 7 講演内容「個別施設計画策定完了から公共FMの実践へ」
講師 J F M A 公共施設FM研究部会 部会長 高橋康夫氏
(公益財団法人群馬県建設技術センターFM室長)

「B I Mとの連携によるFMの高度化とビジネスモデルの創出を目指して」
講師 J F M A B I M・FM研究部会 部会長 猪里孝司氏
(大成建設株式会社設計本部設計企画部企画推進室)

※講演の概要は別添のとおり。

※本講演会は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会 (J F M A) 認定ファシリティマネジャー資格更新講習B方式ポイント対象講座です。(1ポイント)

※本講演会は、建築C P D制度の認定プログラムです。(2単位)

四国ファシリティマネジメント協会
事務局 三好 行

メール info@s-fma.jp

Eメールにて返信ください。
回答期限 11月12日（金）

令和3年度ファシリティマネジメント特別講演会 出席者名簿

会社名 _____
担当者 _____
電話番号 _____

所属名	職名	氏名	備考

※参加は無料です。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場時の検温、消毒にご協力ください。

※講演中の録画・録音はご遠慮ください。

講演会の概要

■ 「個別施設計画策定完了から公共FMの実践へ」

講師 JFMA 公共施設FM研究部会 部会長 高橋康夫氏
(公益財団法人群馬県建設技術センターFM室長)

総務省が全国の自治体へ策定を要請した「公共施設等総合管理計画」に基づき「個別施設計画」の策定が、令和2年度末を目途に進められましたが、策定途中の自治体も多く見受けられます。

そのような状況下において、総務省は令和3年1月に、「公共施設等の総合管理計画の見直しに当たっての留意事項について」を発出し、令和3年度末までに、「公共施設等総合管理計画」の改訂を要請しているところです。

そこで、各自治体にあっては、計画を生きたモノにして行くために、「個別施設計画」を反映した「公共施設等総合管理計画」の改訂を進める事が必要です。

計画倒れにならないように、「個別施設計画」の策定から見えてきたものは何かを検証し、「公共施設等総合管理計画」改訂のポイントを探るとともに、先進事例等の紹介を交えながら、公共FMへの結節点を導き出し、今後の公共FMを実践モードへ展開して行くための方策を考えます。

■ 「BIMとの連携によるFMの高度化とビジネスモデルの創出を目指して」

講師 JFMA BIM・FM研究部会 部会長 猪里孝司氏
(大成建設株式会社設計本部設計企画部企画推進室)

BIMは、建物に関する情報を建物のライフサイクルにわたって有効に活用しようという取り組みです。ファシリティマネージャーにとっては、建物のデジタル情報を入手する手法といえます。BIMを活用することにより建物情報の流通がスムーズになり、ライフサイクルコストが低減できるだけでなく、FMが高度化すると考えています。

2019年、国土交通省は建築分野におけるBIM活用を促進するために『建築BIM推進会議』を発足させ「BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業」を実施しています。ここで採択された事業の多くが、建物の運用段階でのBIM活用を計画しており、FMでのBIM活用が注目を集めていることが分かります。

本講演では、「ファシリティマネジメントのためのBIMガイドライン」(JFMA, 2019)を用いてFMからみたBIMについて解説し、FMでのBIM活用の現状と可能性について解説します。